

西柴中学校調査結果の概要

1. 教科学習状況調査活用

【国語A：主として知識】、【国語B：主として活用】ともにおおむね理解している。

【数学A：主として知識】、【数学B：主として活用】ともにおおむね理解している。

【国語A：主として知識】についての問題

優れている点

- ・話すこと、聞くこと分野では、内容をしっかりととらえ、メモを取ってまとめることができる。
- ・小説の内容や古典の文章をしっかりと読みとり、理解することができる。
- ・言語事項分野では、語句を文脈の中で理解することができる。文法的な面での理解も充分である。

改善が必要な点

- ・言語事項分野では、文脈に即して漢字が書けるようにすることに課題があり、日常の中でもっと漢字を使うようにさせること。

【国語B：主として活用】についての問題

優れている点

- ・読むこと、書くこと分野では、説明文、小説ともに必要な情報をとらえ、それに基づいて自分の考えを書くことができる。

改善が必要な点

- ・図やグラフなど多様な学習素材を用いて、資料を比較して共通点や相違点を述べ、根拠を明らかにして自分の考えを書く力を身につけさせる。

【数学A：主として知識】

優れている点

- ・図形の領域において、2年次に学習した平面図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察することができる。
- ・数量関係の領域において、具体的な事象についての観察や実験を通して、確率についての考え方が理解されている。

改善が必要な点

- ・数と式の領域において、数量および数量の関係をとらえるために文字式を利用できることに課題がある。また文字式の意味を具体的な事象の中で読みとることが難しく、文字式を用いることの意義を定着させ、文字を用いた四則計算ができるようにする。
- ・図形の領域において、立体の求積に関わる領域に課題が見られる。
- ・数量関係において、実験から得られたデータを一次関数とみなしてグラフの特徴を説明することや問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

【数学B：主として活用】

優れている点

- ・数量関係において、時間と距離の関係を表したグラフの意味が充分理解できてい。またグラフを考察して答えることができる。
- ・図形において、三角形の合同条件を理解し、それに基づいて三角形や平行四辺形の性質を論理的に確かめることができる。

改善が必要な点

- ・事柄が成り立つことを説明するために、結論となる事柄を明確にし、見通しをもって説明したり、推論していくことに課題になる。

2, 質問紙調査結果

全体的に様々な事柄に関する目標設定が高く、自己の評価が厳しい傾向が見られる。例えば、生徒の生活面に関しての教職員の評価や学校へ来校する方の評価は高いが、その項目に対して、質問紙の回答は低く答えている生徒が多い。という事などである。

- ・携帯電話をもっている生徒が多く、メールや通話を毎日している生徒が多い
- ・学校の宿題や予習に関してはしっかりと行っていると答えている生徒が多い。
- ・家で学校に持っていくものを用意したり、テレビなどを見る時間を決めていると答えている生徒が多い。
- ・就寝時間が遅く、起床時間が遅い生徒が多い。
- ・あいさつを行う、学校の規則を守っていないと答えている生徒が多い。

3, 質問紙調査クロス集計結果（横浜市の結果と同じ傾向が見られた）

- ・「授業内容がわかる」と肯定的に回答した生徒の正答率が高い。
- ・「朝食摂取」「適度な睡眠」など、生活のリズムができている生徒の正答率が高い。
- ・家で学校の宿題をしていると回答した生徒の正答率が高い。
- ・特にB問題に関して、新聞やテレビのニュースなどに関心があると回答した生徒の正答率が高い。
- ・人の気持ちがわかる人間になりたいと回答した生徒の正答率が高く、また若干ではあるが、B問題でそのがより顕著に見られた。

4, 今後の取組

1. 「わかる授業」「楽しい授業」のため、日頃の授業の学習内容や指導方法について、全教職員で授業研究を中心とした取組を進めます。
2. 少人数指導や習熟度別指導、また教育相談や学習相談としての西柴タイムを一層充実させ、一人ひとりの生徒の課題解決に向けて指導・助言に努めます。
3. 今回の結果を資料とし、外部評価委員会（学校関係者評価）を中心とした学校評価による本校の教育活動の運営・改善について地域・保護者と連携して推進します。

全国学力・学習状況調査のリンク先（試験問題内容、全国の結果）

http://www.nier.go.jp/homepage/kyoutsuu/tyousakekka/2hp_tyousakekka_gaiyou_chuu.htm